

第 87 回日本臨床外科学会学術集会開催報告

日本医科大学消化器外科学 大学院教授 吉田 寛(昭和 61 年卒)

第 87 回日本臨床外科学会学術集会を、2025 年 11 月 20 日(木)～22 日(土)

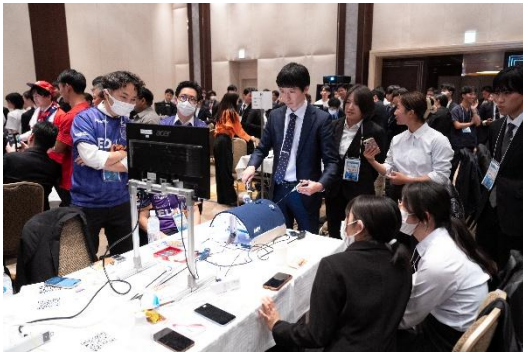
に京王プラザホテル(新宿)にて開催いたしました。私と進士誠一準備委員長の
もと、「心技体」をテーマに掲げ、臨床外科学に関する演題のみならず、外科医
の働き方改革、AI、DX、チーム医療、若手外科医育成など、外科領域を取り巻
く多様な課題を取り上げました。学術集会プログラムは合計 2,034 演題が採択
され、当日は、医学生・研修医・メディカルスタッフを含む約 4,000 名の皆様に
ご参加いただき、活発な学術交流が行われました。

本学術集会では、外科手技や知識を競う「Surgical Obstacle」(26 チーム参加)、
外科専門研修プログラム紹介企画「外科ナビ」(29 施設参加)、iPad を用いた手
術イラストを描く技術を学ぶ「外科医のための Procreate 活用講座」などの新企
画が大きな注目を集めました。また、前回に続き、日本専門医機構 外科専門研
修における外傷研修として 2 点が付与される「外傷外科トレーニング・ライブ
セミナー」開催しました。さらに、医学生や研修医が本音で語り合う「ティータ
イムトーク」を今回は日本医師会共催で開催いたしました。21 日(金)の全員
懇親会ではテツ&トモが外科医ネタで会場を大いに盛り上げました。また、特別

講演には棋士の羽生善治先生をお招きし、本学の北村義浩先生の司会のもと「決断力を磨く」をテーマにご講演いただき、540 名が聴講しました。

本学術集会は、外科医療の進歩と社会的課題の双方を見据えた取り組みとして、多くの刺激と学びを提供する場となりました。オンデマンド配信およびライブ配信も整備し、現地参加が難しい先生方にも聴講の機会を広げることができました。最後に、本学術集会開催にあたり格別のご高配とご支援を賜りました日本医科大学医師会の皆様に心より御礼申し上げます。

<学術集会の風景>



「Surgical Obstacle」

予選では、ドライボックスを用いて縫合結紮のタイムレースを実施いたしました。



「ゲカナビ」

29 施設にご参加いただき、各ブースで学生・初期臨床研修医への施設紹介・プログラム説明を実施いたしました。



「外科医のための Procreate 活用講座」

Procreate を活用して外科医がイラストを描く方法を、メディカルイラストレーターの由様と共に学ぶワークショップを開催いたしました。



「ティータイムトーク」

学生、初期研修医、専攻医を対象に、実際の外科医の生活、将来像などを外科医と本音で話す座談会を開催いたしました。



全員懇親会(テツ&トモ)

外科医ネタを交えたパフォーマンスを披露し、会場を大いに盛り上げました。



特別講演「決断力を磨く」

羽生善治先生

外科医に求められる決断力や直感力について、将棋の世界で培われた経験を交えて語られました。



集合写真